

定期の予防接種スケジュール

望ましい接種時期や接種間隔などの詳細は、P6～7をご覧ください。

体調の良い時期に早めに接種を済ませましょう。任意の予防接種（インフルエンザ・おたふくかぜ等）については、医療機関にご相談ください。医師が特に必要と認めた場合は、2種類以上のワクチンを同時に接種することもできます。

		出生時	2か月	3か月	5か月	6か月	7か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳					
ヒブ感染症★			生後2か月以上										5歳になる1日前まで																			
			4回（接種開始年齢によって回数は異なります）										種類等について変更がある場合がありますので、市ホームページをご確認ください。																			
小児の肺炎球菌感染症			生後2か月以上										5歳になる1日前まで																			
			4回（接種開始年齢によって回数は異なります）																													
B型肝炎			生後2か月～9か月になるまでを推奨します																													
			3回																													
ロタウイルス	ロタリックス (1価)		生後6週0日～生後24週0日までに接種																													
	ロタテック (5価)		生後6週0日～生後32週0日までに接種																													
四種混合★ (百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ)			生後2か月から					7歳6か月になる1日前まで																								
			4回										種類等について変更がある場合がありますので、市ホームページをご確認ください。																			
BCG			生後5か月～8か月になるまでを推奨します																													
			1回																													
麻しん風しん混合 (MR)				1歳～2歳になる1日前まで					小学校就学前の令和6年4月1日～令和7年3月31日の間																							
								1回				1回	※令和6年度は、平成30年4月2日～平成31年4月1日生の人が対象です。																			
水痘				1歳～3歳になる1日前まで																												
								2回																								
日本脳炎			※生後6か月から接種可能です					3歳からの接種を推奨します					7歳6か月になる1日前まで					20歳になる1日前まで(特例措置対象者)														
			※望ましいのは3歳からの開始ですが、流行地へ渡航等される場合は、生後6か月からの接種が推奨されています。この場合は医療機関へご相談ください。										3回					9歳～13歳になる1日前まで					平成19年4月1日以前生の20歳未満の人で4回接種が完了していない人									
二種混合 (DT)																	11歳～13歳になる1日前まで															
																	1回															
ヒトパピローマウイルス感染症 (子宮頸がん予防：HPV)																小学6年生～高校1年相当まで					平成9年4月2日～平成20年4月1日 生まれの女性で3回接種が完了していない人											
																3回					特例措置対象者											
																※シルガード9は、1回目接種の年齢が小6～15歳未満→2回																

★新規で接種する人は、五種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・ヒブ感染症)となります。

※本表は、令和6年2月1日現在で作成しています。今後、内容等に変更が生じることがあります。